

# 福祉 ユーカリが丘

ユーカリが丘地区社会福祉協議会  
 発行人 会長 高崎照夫  
 編集 広報事業部  
 〒285-0843 千葉県佐倉市中志津2-32-4  
 西部地域福祉センター内  
 電話：043(460)1781 FAX：043(463)4169  
 事務局員勤務：火・水・金の13時～17時  
<http://yukari-shakyo.jp/>

## 3年ぶりに「ふくし祭り」を開催

2022年11月20日(日)10時～14時30分

志津コミュニティセンター

コロナ禍で開催を見送ってきましたが、感染防止対策を徹底して「第30回ふくし祭り」を3年ぶりに開催しました。

3密を避ける為、大ホールで実施していたバザーは中止し、玄関前駐車場でフリーマーケットや、商連加盟店舗等によるテイクアウト専門の弁当・惣菜・焼き鳥・お菓子、4店による野菜販売を実施しました。

当日は、曇り空で少し肌寒かったですが、当地区社協会長の挨拶で祭りが開会し、佐倉市長・佐倉市社協会長の挨拶後、絵画コンクール授賞式(授賞者名や全作品などは広報紙第80号に掲載)と進み、10時30分より大江戸助六流佐倉勇翔太鼓の演奏でフリーマーケットや弁当等の販売を開始。

大ホールでは、キッズコーナー、フードバンク受付、相談コーナーの他に、ステージ上でボランティアの方々によるピアノやアコーディオン演奏、ハーモニカ演奏、ハワイアン演奏が行われました。



2階大会議室ではキッズコーナー(ポッチャ体験、キャッチ・ザ・スティック)が実施され大人も子どもも楽しんでいました。

何とか雨も降らず、来場の皆さま・ボランティアの皆さま・商連加盟店舗の皆さま等、多くの方々の協力のもと無事に開催することができました。感謝申し上げます。



### 目次

- 2・3面：第2ブロック / 第3ブロック / 交流事業部 / ボランティア事業部 / 研修事業部からの報告
- 4・5面：ありがとう事業
- 6面：スマイル事業 / 志津4地区社協合同歳末施設訪問
- 7面：佐倉市社会福祉協議会の紹介





### 第3ブロック 師走の慌ただしくなる中、 総勢25名で青菅小学校生垣剪定を

2022年12月14日(水) 9時～11時

支援事業の一環として、青菅小学校の生垣剪定作業に協力致しました。当初は13日に予定をしていたが、雨で一日延びたお陰で当日は朝から良い天気恵まれ作業日和となり、第3ブロックからは12名の方が参加致しました。その他に、青菅小学校の先生やPTA、青菅まちづくり協議会、宮ノ台クラブ、そして地元でもあり、また、福祉委員でもある飯高造園土木(株)様からゴミ収集車配車のご協力が有りました。剪定バサミや電機バリカン、刈払い機などを使用し、手際よく作業をし、コロナウイルス感染予防対策を取りながら、事故、怪我もなく無事に終了することが出来ました。



### 住民福祉懇談会開催

2023年2月12日(日)

場所・ユーカリが丘北公園宮ノ台自治会集会所

参加者・36名(内福祉委員22名)

『災害は突然やってくる・その時あなたはどうか』をテーマに住民福祉懇談会を開催しました。地域の皆様にたくさんの参加を頂き、地震や台風などによりライフラインが止まったとしても、家にある食材で簡単に普通の食事を作る事ができるデモンストレーションを行い、調理した食品を試食して頂きました。また、冷蔵庫にいま何があるかを参加者の皆さんに伺い、その食材で出来るメニューやレシピを紹介し、手軽にできることを勉強しました。最後に皆さんから、「作れるレシピがたくさんあり、帰ったらやってみます」など多くの喜びの声を頂きました。



### 第2ブロック 3年ぶりに住民福祉懇談会を開催

2022年12月4日(日) 志津コミュニティセンター

新型コロナウイルス第8波による感染を防ぐため、今年度はブロックの福祉委員による研修会形式として開催致しました。テーマは、後見人制度や虐待防止に係る「権利擁護」と認知機能の改善が期待される健康体操「ふまねっと」を実施しました。

第1部は、志津北部地域包括支援センターの北原理恵子センター長から、権利擁護に纏わる社会福祉の変遷や、成年後見制度について話しを聞きました。また、近年問題となっている高齢者への虐待に関し、気づいたらすぐ市区町村や地域包括支援センターに通報し虐待を防ぐことが重要であると、再認識することが出来ました。

第2部の「ふまねっと」は、24のマス目を歩くことで認知機能の改善につながる運動です。失敗も会場の笑いを誘い、参加者とのコミュニケーションも生まれる体操でした。是非皆さんも経験してみてください。

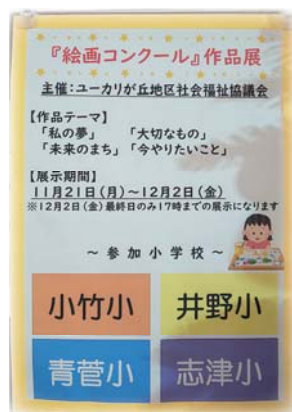


### 交流事業部会 絵画コンクールの作品を展示

11月21日(月)～12月2日(金)

当地区社協内の小学校(小竹、井野、青菅、志津)に通う児童が4つのテーマを題材に描いた181作品(広

報紙第80号で全作品を紹介)の展示を、スカイプラザ・モール2階の「オリンピックおーぶユーカリが丘店」にて行いました。毎年、たくさんの児童よりご応募いただいていること、そして各学校、先生、保護者の方々にご協力をいただいておりますことに、改めて御礼申し上げます。



来年度もたくさんのご応募お待ちしております。



## 研修事業部会

### 福祉委員研修

#### 佐倉市の子どもを取り巻く現状について!

2022年11月6日(日)第2回福祉委員会終了後

参加：福祉委員約90名

講師に佐倉市ボランティアセンター長の高橋将紀氏と、千葉県スクールソーシャルワーカーの飯野弥生氏をお迎えして『佐倉市の子どもを取り巻く現状について』をテーマに講演していただきました。

前半は高橋氏から『佐倉市の子ども食堂の現状について』の話を聞きました。現在、佐倉市には13か所の子ども食堂があります。子ども食堂が社会的に始まった頃は、子どもの貧困対策としての目的があったが、現在は地域の大人や子どもが日頃から繋がる地域交流の場として、孤食の解消、食育などの機能を担っています。支援も広がり食料の寄付や寄付金も寄せられているそうです。一般市民の方々へ、子ども食堂の活動を知っていただき、地域の交流の場であることを理解していただきたいそうで、高橋氏の子ども食堂への熱意を感じました。

後半は飯野氏から『佐倉市の子どもを取り巻く現状について』で、①子育ての現状 ②コロナとともに生きる子どものこころ ③SOSを受け止めるために この3点について話を聞きました。育児の不安を抱える親に適度な距離でご近所づきあいを持ち、子育ては地域ぐるみで行っていききたい。コロナ禍により子ども達の生活に変化がみられ7割以上の子どもがストレスを抱えているそうです。子ども達が気軽にSOSを発信できるよう、学校や家庭以外の居場所づくりや、信頼できる大人との出会いが持てるようになるとよい、そのためには日頃から挨拶し合う関係を作り、季節や地域の行事、日ごろの出来事を共にする日常をすごせたらよいです。“子どもが子どもらしく暮らせる街に”とても菌切れのよいお話でした。



## 市民研修会

2023年2月5日(日)

志津コミュニティセンター 大会議 参加者44名

今年度は皆さんが関心をお持ちのテーマを取り上げ、近くにありながら活動内容が正しく理解されていない地域包括支援センターの役割と介護保険について志津北部地域包括支援センターの北原理恵子センター長に講演していただきました。

志津北部圏域の高齢化率は31%、その高齢者の様々な問題に対応されています。

総合相談支援、介護予防ケアマネジメント、介護予防支援、包括的・継続的ケアマネジメント、権利擁護業務等にチームでアプローチされています。



緊急通報サービス、触れ合い配食サービス、物忘れ相談、認知症初期集中支援等があることがわかり安心しました。

介護保険の利用方法、成年後見制度、高齢者虐待の例、消費者被害の防止及び対応等大変参考になりました。高齢者や家族が必要な時に必要な社会資源を活用できるようにするために社会全体で取り組んでいくことが必要と実感しました。

参加された皆さんから「大変勉強になった。包括支援センターが身近になった。まずは健康で過ごせるようにしたい」等の意見がありました。

また、北原さんの穏やかな語りが大変好評でした。

## ボランティア事業部会

### 歳末たすけあい街頭募金活動に協力

2022年12月1日午後6時より1時間

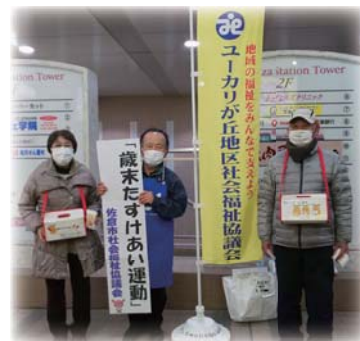
京成ユーカリが丘駅周辺にて6名参加

コロナ感染に留意しながら、歳末たすけあい街頭募金を実施し、例年通り葉やティッシュの配布を行いながら、駅利用者に募金活動への協力を呼びかけました。

当日は歳末らしく気温も低く帰宅を急がれる方が多く、協力いただける方も少なかったと思いますが、9,697円の募金が集まりました。

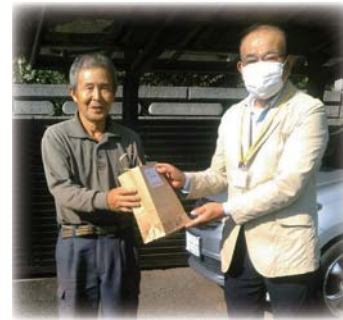
来年からも、共同募金の本質を訴求して活動を継続していく所存です。

※歳末たすけあい募金に寄せられた寄付金は、支援を必要とされている方たちが安心して新年を迎えることができるなど、様々な福祉活動に役立てられています。





# ありがとう事業



## “おじいちゃん・おばあちゃんありがとう”の気持ちを伝えたい事業 実施

新敬老事業として令和2年度から開始された本事業は、地域住民の敬老意識の高揚を図るとともに高齢者の地域社会への参加の推進や生き甲斐の充実を図るといった目的の達成に資する取り組みに対して、市内14地区社協を事業主体とした佐倉市の交付金交付事業として実施しています。

ユーカリが丘地区社協では、年度内に80歳及び90歳に到達する高齢者を対象として永年に亘る社会貢献に感謝の意を表すとともに長寿を祝して記念品を贈呈する「ありがとう事業」が採択されて、対象者435名(80歳341名・90歳94名)に対して10月下旬～11月初旬に実施しました。

各自治会・民生児童委員・福祉委員の皆様の協力を得て対象者宅を直接訪問し、記念品とともに地区社協からの感謝の手紙と地域内4小学校

(青菅・井野・小竹・志津小学校) 児童からの感謝の手紙や折鶴に託したお祝いメッセージ900点余を添えて贈呈させていただきました。

ワクチン接種の推進や感染予防策の徹底により行動制限が解除傾向にあるとはいえコロナ禍の下なので、万全の感染予防対策を実施しての訪問でした。久々の訪問者ということもあってか別添アンケート記載のように大変喜んでいただき、こちらも気持ちが温くなりました。

今後も、永年の社会貢献により今日の平和な社会の礎を築かれた高齢者に対する感謝の念を忘れることなく敬老事業を継続していく所存です。

会長 高崎照夫

記念品贈呈風景



小学生からの手紙



届け物の内容

### \*\* お届けした方々から寄せられたコメント \*\*

- ・思いがけないお祝いをしていただきありがとうございます(同様55)
- ・直接訪問いただき(コロナ禍や高齢の為人と会うことが少なかった)久しぶりで大変うれしく感激した(同様38)
- ・心温まるお手紙、小学生のお手紙・折り紙、可愛かったです。孫が出来たようです(同様35)
- ・井野小の2年生の皆様によしくお伝えください。
- ・(志津小〇〇さん、小学生男子に宛てて)きれいな字でお手紙をありがとう。昔を思い出しました。(同様5)
- ・80歳のいまでも野球を続けています、ただ、目は一生に1つだけ、ゲームなどやりすぎないように大切にしてください。
- ・登下校の途中にあいさつを交わすことも多く元気をもらっています。今回夏休みの思い出を字も文章も綺麗にしっかり書いてくれてありがとう～優しい気持ちよく伝わりました。
- ・最高に素敵な企画でただ感謝感謝です、これからも一層元気で穏やかな老後をつつがなく過ごしたく頑張ります。子供たちのお手紙、心温まり癒されました。宝物忘れません。
- ・子供たちとお話や意見交換をしたいです。
- ・心身ともにいろいろ不調を感じるようになり落ち込んでたが、これからも元気で毎日頑張ろうと勇気もらった、皆様によしく!(同様10)
- ・これを機に米寿卒寿白寿と長生き目指して頑張る気になりました。(同様8)
- ・自治会や民生委員の方、何度も大変だと思います。これからもお世話になります(同様5)
- ・笑顔の素敵な方が届けてくれた、普段人と接する機会が無いので少しでも話が出来ると年寄りにはうれしいです。
- ・五養粥大好きです。保存もきき手間もかからずダイエットにも良い。美味しくいただきました。(同様10)
- ・五養粥セットは好きではありません。菓子セットの方が良かった(同様5)
- ・少額でも現金の方が好きな物を買えるので良い

- ・他の自治体・地域の祝い品と比べると差が大きい感じがする予算ねん出が困難であれば、記念品は出さなくて良い(同様3)
- ・敬老の集いがなくなって淋しく思っていたがその代わりとして良い企画だと思います。
- ・高齢者より困っている人・食べられない子供・家庭に手を差し伸べてほしい。(同様5)
- ・入居中・入院中で、代理の物が受け取りました。食事制限でもう食べることができませんが、優しい心使い、ありがとうございます。(同様5)
- ・協議会の皆様の日ごろの活動に心から感謝します。
- ・高齢者が気軽に集える企画を作って欲しい。まだまだボランティアがしたいので、ちょいボラする場所を考えてほしい。(同様3)
- ・昭和15年8月15日終戦を旧満洲で(ロシア軍、八路軍)迎え、ウクライナと露軍の戦争を思い出します。あつという間に90歳を迎え自分ながらびっくりしています。
- ・歌声喫茶(100円喫茶)の再開は まだですか? 待ってます。(同様3)
- ・11月のバザー楽しみにしています。
- ・小学生に返事を書きたいので、学校・クラスが知りたいです。(同様3)
- ・子供の手紙自体は良いが知らない子から形ばかりの手紙はうれしくないし、先生も負担だと思うから要らない
- ・ごみになるものは要らない
- ・手渡しより郵送に!!
- ・80歳はまだ増えるから、年齢を上げたら～
- ・当地に2番目に引っ越してきた2000年、街頭も無く真っ暗でした。〇〇さんのお陰で自治会が結成され思いがけない出来事で脱会しました、訪問していただき恐縮。役員の方々の負担にならないように～
- ・Thank you all for the very nice gesture ♡ god bless you!



# スマイルサービス

スマイルサービス事業部  
日常生活のお手伝い

(2010年10月設立)

## 有償ボランティア募集!! (サポーター)

あなたの空いている時間を地域の困っている方々のために有効活用してみませんか?



作業料  
1時間500円

月1~2回でもOK!!



### 利用できる方 (利用会員)

地区社協活動地域内居住の方で

- 手助けを必要としている高齢者の方
- 子育て世代で支援を必要とする方
- 障がい有する方で支援を必要とする方
- その他、このサービス支援の必要性があると認められる方

### 作業内容

- ① 掃除
- ② 見守り・話し相手
- ③ ゴミ出し
- ④ 電球取換え
- ⑤ 家具の移動
- ⑥ 庭の草取り
- ⑦ PCや家電の点検
- ⑧ 買い物代行
- ⑨ 病院・買い物の付き添い
- ⑩ 子育て世代家事支援
- ⑪ その他



会員登録・問い合わせ

TEL 043-312-4073 FAX 043-312-4074

スマイルサービスセンター E-mail smile-c@citrus.ocn.ne.jp

コーディネーター受付日 月・木 14:00~17:00

左記以外の時間帯は 留守番電話・FAX・E-mailにて承ります

## 志津4地区社協 合同歳末施設訪問

2022年12月13日(火)

志津4地区社協による合同歳末施設訪問を実施し、当地区社協は『特別養護老人ホーム ゆたか苑』と『愛の家グループホーム 佐倉西志津』を訪問しました。愛の家は、認知症および介護認定を受けた方が入所されており、自宅と同様の日常生活に近い環境で過ごせる施設でした。一人ひとりの能力を尊重したサポートを受けながら暮らしていける環境はとても良いと思いました。季節の行事も大事にされており訪問時はクリスマスの歌を練習していました。コロナ感染拡大以前は地域のお祭りなどにも参加され楽しんでいたそうです。看護師の常駐はありませんが訪問診療などが充実しており安心だと思いました。慰問品のタオルも大変喜ばれ、コロナ感染症が収束し入所者とスタッフの方が安心して過ごせる日が早く訪れると良いと思います。



12月13日に訪問した福祉施設です

施設名	電話番号	担当地区社協
グループホーム あゆたの森	460-3961	志津
地域密着型特別養護老人ホーム さくら福寿苑	488-5758	
通所介護 癒しのデイサービス志津	460-6511	
特別養護老人ホーム ゆたか苑	463-6805	ユーカリが丘
グループホーム 愛の家佐倉西志津	460-1820	
通所介護 佐倉西ケアセンターそよ風	464-8341	志津南
就労継続支援 (株)陽だまり	463-9011	
介護老人保健施設 エクセレントケア志津	461-1110	西志津
就労継続支援 ユーカリワークス	461-0009	

## フードバンクに協力

当地区社協では毎月の理事会で食料品の寄付を呼び掛けています。集まった食料品は佐倉市社協が保管管理し、経済的理由などで食料品を希望する方に譲渡しています。





# 市内で活躍しているボランティア

11月6日に、福祉委員向け研修で**佐倉市ボランティアセンター**（以下、佐倉市ボラセン）の高橋センター長から話を聞いたこともあり、市内にはどのようなボランティアがあるか聞いてみました。

佐倉市ボラセンには、小学生から90代まで2,834名（100のボランティア団体の会員と個人ボランティアを合わせて）が登録し、障がいや子ども・環境など様々な活動をしているようで、現在、1番長く活動している団体は、1972年に登録した**点訳サークル野菊の**

録音の活動をしている**佐倉市こおろぎの会**の活動取材してきました。

佐倉市こおろぎの会は、1973年に発足し現在の会員は24名で、こうほう佐倉などを読んで録音（音声録音）し、リスナー（音声録音を利用している視覚障がいの方で現在25名が登録）に郵送しているのが主な活動だそうです。コロナ前は、こうほう佐倉やゴミカレンダーなどの特集号・風媒花・リスナーからの要望（議事録や家電の取扱い説明書・小説）など、多岐にわたって読んでいましたが、3密を避けることもあり、最近までこうほう佐倉だけを読んでいました。

録音したCDはプレックストークという機器で聞くことができ、録音されたばかりのこうほう佐倉を聞かせてもらいました。普段は**目で読んでいる**こうほう佐倉を、**耳で読む**のはとても新鮮でした。会の代表から「会員募集のチラシを作り6名会員が増えましたがまだ足りません。会員もですがリスナーさんも増やしたい。」と。

ボランティア活動は特別な資格はいらないそうです。ボランティア活動に興味がある方は、佐倉市ボラセン（043-484-6198）に問合せしてみてください。あなたがやりたい活動が見つかるかもしれませんよ。



こうほう佐倉の読み方を皆で確認後、読んで、パソコンに録音し編集している様子

**会**（点字活動）で、1番新しい団体は2022年10月に登録した**しづ食堂**（地域食堂活動）だそうです。

今回、100団体の中から、視覚障がいの方に音声



CDをダビングする機械



福祉教育で子ども達に読む時の注意点を説明したこともあるそうです

### 交流事業部から 世代間交流スポーツレクを開催します

子ども達に大人気でした『お話しフェスティバル』ですが、会場を締めきって行きますので、今年度は、**世代間で交流できるスポーツレクリエーション**を開催することにしました。大勢の参加をお待ちしています。

- 日時：2023年3月25日(土) 9時30分～12時
- 会場：志津コミュニティーセンター 大ホール
- 内容：幼児から高齢者まで、気軽にできるスポーツをしながら交流をします
- スポーツは ①ポッチャ ②キャッチ・ザ・ステック ③ユニカール ④トランポリンを予定しています
- ※コロナ感染が拡大した場合は中止する場合があります。

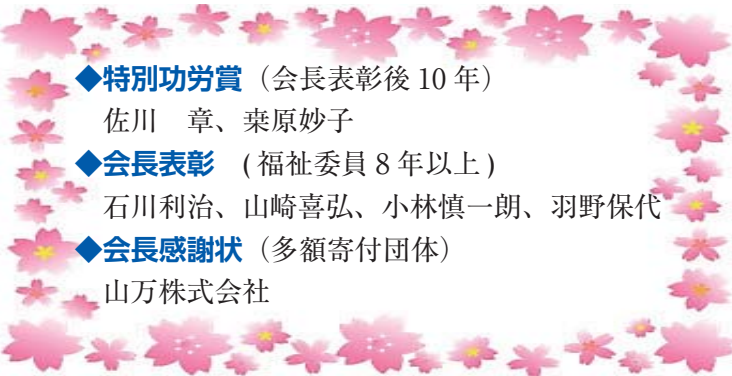
### 支援事業部から

新型コロナウイルスの感染拡大により、2020年3月から、いきいきサロン・歌声喫茶『カフェ・ユーカリ』・100円喫茶、すべての活動を自粛せざるを得ない事態となりました。2022年度も当初から感染拡大状況が続いたため、地域住民の方々との交流の場も持てないまま、年度を終えることとなりましたが、2023年度4月より再開する方向で動き出しました。

全会場ではありませんが、できる所から始めたいと思っております。皆様にお会いできる日を楽しみにしております。※感染拡大予防の為、全会場ともお茶のみの提供でお菓子の提供はありません。また、感染が拡大した場合は急きょ中止になる場合もあります。

### 福祉功労者表彰おめでとございます

日頃の地域福祉活動に貢献されている個人や団体を対象に、福祉功労者として佐倉市社会福祉協議会から表彰されています。コロナ禍を鑑み今年度も式典は中止となりました。当地区社協の福祉委員、及び、地域の団体が表彰されました。おめでとございます。(敬称略)



- ◆特別功労賞 (会長表彰後10年)  
佐川 章、栗原妙子
- ◆会長表彰 (福祉委員8年以上)  
石川利治、山崎喜弘、小林慎一郎、羽野保代
- ◆会長感謝状 (多額寄付団体)  
山万株式会社

### 《いきいきサロン開催予定》

開催場所	開催日時	4月	5月	6月
志津コミュニティーセンター	第1金曜日 10:00~12:00	7	12	2
北公園宮ノ台会館	第3金曜日 10:00~12:00	21	19	16

対象者：概ね75歳以上で自分で身の回りの事ができる方はどなたでも参加できますのでいらしてください

(午前の部だけの開催となります)

参加費：100円 (コロナ感染の拡大予防対策で、お茶のみ提供でお菓子の提供はありません)

### 《歌声喫茶「カフェ・ユーカリ」の開催予定》

開催場所	開催日時	4月	5月	6月
志津コミュニティーセンター	第2金曜日 14:00~16:00	15 (第3土)	12	9

対象者：どなたでも参加できます

参加費：100円 (コロナ感染の拡大予防対策で、お茶のみ提供でお菓子の提供はありません)

### 《100円喫茶 開催予定》

開催場所	開催日時	4月	5月	6月
かがやき喫茶 ユーカリが丘第1集会所	第4火曜日 14:00~15:00	25	23	27
ほほえみ喫茶 北公園宮ノ台会館	第4火曜日 13:30~15:30	25	23	27
カフェ円か ユーカリが丘五番町ハイツ集会所	第4土曜日 10:00~12:00	29	27	24
さわやかプラザ ユーカリが丘第2集会所	第4金曜日 13:30~14:30	28	26	23
花のさと 井野会館	第2水曜日 13:00~15:00	準備中	準備中	準備中
みんなの広場 志津コミュニティーセンター	第3水曜日 13:30~15:30	19	17	21
先崎ふれあいサロン 先崎自治会館	第3日曜日 13:30~15:30	準備中	準備中	準備中

対象者：赤ちゃんから高齢者までどなたでも参加できます  
参加費：100円 (コロナ感染の拡大予防対策で、お茶のみ提供でお菓子の提供はありません)

問い合わせ先 事務局043(460)1781

### ご寄付をいただきありがとうございました

上座15日会様 7,500円

### 編集後記

今までの卯年をみると、国鉄の民営化や東日本大震災「物事の始まりと終わり」の傾向が反映されているという記事をよく目にします。コロナ禍で生活に多大なる影響を及ぼし、人々の活動は停滞していましたが、そんな中でも、人も経済も動き出しました。「癸卯(みずのとう)」陰陽五行思想によれば、干支の4番目である「卯」は「木の陰」で季節は春。木は天に向かって伸びる樹木のごとく「成長」を表し、陰は、優しく穏やかな性質を表すようです。2023年は大きく「飛躍」し、私たちの生活が大きく「向上」する年になって欲しいものです。

